

# ともに生きる

No.1



## ご挨拶

学長

小谷 豪治郎

紀元2000年に第1回の入学式を挙行できたことは、いろいろな意味で、学生諸君、保護者の皆様、我々教職員にとりまして、生涯忘れられない記憶に残ることであろうと思います。

入学式に当たって私は皆様に当大学の「誇るべき伝統の基礎づくり」に協力していただくようお願い致しました。というのも、近畿福祉大学が、引き継がれるべき伝統をまだ持っておらないからであります。ところで、伝統をつくる為には、先ず伝統の基礎となるものを現実に自らつくり上げねばなりません。高邁な理念を理解し、そして教育のための現実的な信条を基盤にして、それぞれが各自の目的に向かって努力し、自己反省を怠らず、決して慢心せず、自力と他力との調和に心を配ることを忘れず、お互いに切磋琢磨を常に励んでやまなければ、きっと素晴らしい伝統の礎石を築くことになる信じております。

ところで、本学の教育理念ですが、「青年は次代創造の源泉であり」青年がその個性を伸展させるために進んで我々が手を貸すならば、「個々の人間と地域社会とそして国家と地球に福祉的未来を実現する」と確信しております。何故ならば特に青年は新しいより良い時代を将来創設する事ができる貴重な源泉であると、我々は考えているからであります。そして、同時に価値の高い源泉と考えられている人たちの扱いについて申しますと、それぞれが持っている個性を伸展させることが何よりも必要であると共に、既に指摘しましたように、彼等間でお互いに切磋琢磨する機会が必要です。若い学生達は厳しい練磨の受け手とならなければならない宿命を持っていることは言うまでもありません。より良い時代を築き上げる為には、以上に加えて、思いやりと助け合いの精神を発揮できなければなりません。

また、我々は教育するに当たっての現実的な信条として、「真に学生のためになり、そして喜ばれる学園づくり」ということを忘れてはならないと自戒しております。こ

のような信条は学生達にとっても、そして、保護者の方々にとっても満足のいく教育的效果を發揮し、素晴らしい結果を生むことと自信を持っております。現在学生達は、それぞれ専門分野において具体的に色々な角度から教授され、手取り足取り、組織的に福祉関係に関する問題について、机上の学問だけではなく、実習を加えて真剣に体験的に指導を受けつつあり、充実した学生生活を送っているものと思います。現実的な成果として、彼らはいろいろな福祉分野の専門家としても、大いに活躍できるものと期待しております。

また、人間として大切なことは、その一人一人がどのように成長していくかということと、彼ら自身の心の内面にまで、教育の成果が実るかということに、私は強い関心を抱いております。そのためには改めて言うまでもありませんが、出来るだけ広くいろいろな分野に関心を持ち、宗教や民族や、日本の国の歴史の発展過程と文化的な諸問題に、国際的感覚を持った人並みの反応が出来るような、生き様を期待しております。

学生一人一人が大きく成長することが、母校となる近畿福祉大学の名声に直接・間接に影響を及ぼすことになるはずです。それは単に就職率が高いだけでなく、年数をかけて将来はわれわれの大学が福祉教育のメッカになることを私は期待しています。特に、一期生の誇りを忘れず、国際的視野に立った社会福祉のあり方を広範に追及し、未来型福祉の展開をどのようにすればいいかを、しっかりと把握できるだけの専門家になるよう、そして、また、積極的で実行力のある人材、心豊かで広い視野を持つ人材、そして、バリヤフリーの社会を構築しながら、未来福祉社会をリードする福祉の専門家に育っていただくことを心から願っております。

以上のような理想が、皆様の御子達の手によって具体化するためにも、保護者の方々には今後もますますご協力ご支援を賜りたく存じますので、よろしくお願ひいたします。



## ご挨拶

後援会長

小 谷 忍

昨年、開校とともに後援会が発足され、一年が経ち、新たなスタートを迎えました。

私は、学校近郊に住いをしておりまして、本年度も後援会会长という大学に縁のない私がさせて頂くことになりました。

年明けに、役員会が理事長室にて行なわれ、役員の中から鋭い指摘もあり時間予定より長引きましたが、和気あいあいとした時間を過ごさせて頂きました。本校は、

まだ基盤のない学校であります。ないから不安もあり希望もある大切な時でもあると思います。

学生は全国から集まっています。会員の方々の心配も私達には手にとるようにわかります。私達役員は、そんな親御様が子供を思う気持ちちは同じです。だからこそ私達は皆様の窓口となり代弁者となり、この一年を学校と学生と皆様と共に、意義のある運営をしていこうと考えております。

## 後援会役員紹介

会長	小 谷 忍	(社会福祉学科)
副会長	森 修一	(介護福祉学科)
監事	宮 辻 ルミ	(福祉産業学科)
委員	下 多 瞳 美	(社会福祉学科)
委員	馬 場 正 則	(社会福祉学科)
委員	藤 原 美 好	(福祉産業学科)

## 大学役職員紹介

理事長・学長	小 谷 豪治郎	(名誉政治学博士)
社会福祉学部長	大 羽 薫	教授 (文学博士)
学生部長	沖 垣 達	教授 (理学博士)
厚生部長	森 忠 繁	教授 (医学博士)
図書館長	牧 野 修二	教授 (文学博士)
社会福祉学科長	笹 野 完二	教授 (文学修士)
介護福祉学科長	安 井 秀 作	教授 (文学士)
福祉産業学科長	藤 井 道 一	教授 (理学博士)



## 社会福祉学部の出発

社会福祉学部長

大 羽 蕉

保護者の皆様、日頃は近畿福祉大学のために一方ならぬ御後援をいただき、ありがとうございます。私は小谷学長をお援けして近畿福祉大学の創設に参加させていただきました者でございます。本日は初めての御挨拶を申し上げます。どうぞよろしくお願ひ致します。

本学は社会福祉学部という一つの学部だけの構成であります。福祉分野を代表する3つの学科からなっており、これは開学以前より、文部省（現在は文部科学省）から期待され、地域社会にも受け入れられて今日に至っております。文部省への申請にあたっては、本学部の卒業生に対し、学士（社会福祉学）という名称の学位を授与することが認められております。

今こそ、文部科学省は大学の設置認可を緩やかにして、私たちの大学と類似の学部や学科を全国各地に認可しておりますが、近畿福祉大学の申請準備を開始した平成10年前後は、大変きびしい状況だったことを回顧しております。

「福祉大学」と銘打った大学の「社会福祉学部」として認められましたことの意義を深く考え、自覚を新たにして先進諸大学にまけない成果を上げたいと念じております。幸いにして、はじめて、さわやかな学生と、立派な教職員に恵まれ、開学以来、新しい大学として順調な歩みを続けております。必ずや人間性豊かな魅力ある若者が成長し、よい学風が創りあげられるものと信じております。

大学を卒業するには、持続的な努力とエネルギーの集中が必要です。大学では先生方が折あるごとに学生を激励して参りますが、保護者の皆様からも、何とぞよろしく御支援とお励ましをいただきますようお願い致します。

まだ先のことでの笑いになるかもしれません、学生の皆さんがあつたく学士（社会福祉学）の学位を得られますことを心から期待し、その喜びを分かち与えていただきたいものと願っております。



## 「ともに生きる」創刊に寄せて

学生部長

沖 埠 達

皆様の会員通信がようようお手元に届くことになり、私共学生部一同心からお慶び申しあげ、かつ安堵致しています。

正直に申しますと、私共後援会事務局としましては会員通信をもっと早く皆様にお届けしたかったのです。しかしご承知のように、本学は昨年4月に開学したばかりで、すべての作業がゼロからの出発でした。まずはお詫びとお断りを申しあげます。

さて、学生部の任務は、大学の本来の仕事である教育、教務の進捗に合わせて、学生諸君の生活をより快適により有意義にすることと考えています。そのために、まず全学生による学友会の立ちあげに協力し、その結果として、既にカルチャーやスポーツを主体とするサークル活動が始まっています。秋には第1回播彩祭（学園祭）ができました。

それらを含めて、この1年間の行事などについては、

どうぞこの通信をごらん下さい。

新年度早々には、2年生のためのオリエンテーションを企画しており、講義や実習計画の紹介、施設見学、資格取得や将来の就職活動への対応などについてガイダンスを行います。学生諸君には、将来福祉分野での指導者になってもらうために、人への思いやりに厚くしかも逆境に強い人間に育ってほしいのです。

私事ですが、私は30年余も日本の大学を離れていた者で、何事にも不案内なのですが、その間の海外の体験を生かして、学生諸君との交流を深めてゆきたいと考えています。幸い学生生活委員会、学生相談室、それに5名の学生部スタッフが協力して、本当に良く仕事を進めてくれています。

どうか皆様には、いつでもご不満やご要望などを遠慮なくお寄せ下さい。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

## 社会福祉学科

学科長

笹野 完二



本学科は、これから日本の社会福祉を担う専門家を育成することを目指しております。そのためには福祉の学問と技術を修めるだけでなく、人をよく理解し、人に温かく接することの出来る人間性の育成が大切であると考え、その教育を実践しております。幸い、将来社会福祉の世界で働くことを目指す260名の意欲ある学生を本学科に迎え、順調にそのスタートを切りました。

まず初年度（1年次）は、心理学、倫理学、哲学、経済学、政治学、日本史、外国史、保健体育、外国语など一般教育科目による人間科学の基礎と医学一般、社会福祉原論、介護概論、社会福祉援助技術論、老人福祉論、老人の心理、福祉情報論、障害形態別援助論、施設福祉論などの専門科目とが並行して講義され、また、社会福祉援助技術の演習なども行われました。はじめ、学生達は、大学教育になじむまでの苦労があったようですが、各担当の教員が一丸となって指導にあたった結果、学生

の学習活動も軌道に乗り、ほぼ順調に展開されて来ております。

学生指導には最初から気を配り、クラス担任を中心に指導や相談活動を行っております。さらに、新年度からはより親密な指導ができるよう指導体制の強化を計画しております。

2年次からは、専門科目の比率が増え、演習科目も多くなって来ますので、学生達がより積極的に学習に取り組んでくれるよう期待しております。

また、この度、社会福祉実習指導室が開設され、指導体制が整備できましたので、13年度からは学生の個別指導、グループ指導ならびに実習施設に関する資料の提供などを実施できるようになりました。3年次に実施する現場実習に向けての準備教育を十分にやりたいと思っております。

## 介護福祉学科

学科長

安井 秀作



介護福祉学科の目標は、介護保険の導入によって大きく変貌しつつある介護サービスを支える、科学的な思考に基づく質の高い介護のプロを育てることにあります。私たちは、介護を単に一つの技術としてのみ捉えるのではなく、何よりも、介護の対象となる人たちを深く理解し、心のケアまでをも含めて支援できるような人材を育てることに重点を置いています。このため、人間諸科学を中心とした幅広い学問領域についての知識を基本として、介護の技術を深めることができるように、全国的に珍しい、4年制となっています。

現在、102人の学生が在籍していますが、全員が、卒業と同時に介護福祉士の国家資格を取得すべく頑張っています。カリキュラムは、極めて密度の高いものとなっており、各学生は、時には、苦しみながらも、目標達成に向けて、一歩一歩、着実に知識を修得し、技術を深めています。

福祉を学ぶに当たって大切なことは、福祉

サービスの利用者とかかわり、この人たちに学ぶという姿勢です。このことは、福祉に携わるものは、決して忘れてはならないことと考えています。そのため、学内の講義、演習などを基礎とし、さらに、実践的に学ぶため、高齢者・障害者施設での実習に大きな重点が置かれています。実習は、4段階にわたって実施されますが、その第1段階は、この9月から実施され、それに向けての学習が始まります。実習には、大きな緊張が伴いますが、これを目標どおり達成し、一段と逞しい人材となって大学に戻ってきてくれることを期待しています。

本学は、発足から間もない大学ですが、それだからこそ、無限の可能性を秘めていると自負しています。個性豊かな学生一人ひとりとの出会いを大切にし、保護者の皆様方の側面的支援をいただきながら、21世紀の福祉社会を支えるに相応しい福祉大学となるべく努力してまいります。

## 福祉産業学科

学科長

藤井道一



福祉産業学科は、福祉の専門知識を学ぶこと、そして福祉産業全体を広くとらえる視野と知識を身につけることを目標にしています。福祉プロパーの仕事についていた場合にも、あるいは発展しつつある福祉産業を担う職業についていた場合にも、福祉の専門家として貢献できる人材となることを目指して勉強するわけです。

1年次に受講する科目は、福祉関係の基礎的内容の科目と一般教育科目が中心となります。2年次以降は福祉産業学科に特徴的な科目（例：企業論、産業社会学、産業医学、福祉機器論、福祉産業経営学など）が増えていきます。また、本学科には、他の2学科と同じように、社会福祉士の国家試験受験資格を目指す学生がたくさんいます。そのため、カリキュラムに受験資格取得に必要な科目を用意しているのは当然ですが、それとともに福祉施設などにおける実習を行うための準備を現在進めて

いるところです。

昨年は、福祉に対する学生の姿勢をより前向きなものにするために、福祉現場の指導者による講演を聴く機会を他学科と共に持ち、他方で、本学科主導の講演会『IT化社会と近未来の福祉産業』（講師：日本総合研究所副主任、田中秀幸氏）を開催し、福祉産業の現況に対する学生の理解を深める取組を行いました。同様の取組は今後も継続する予定です。

福祉産業学科は、福祉産業の発展を担う人材の育成という時代の要請に応えるために開設した学科であり、大きく飛躍していくものと確信しています。現時点では、他学科に比べていくらか入学しやすいという面が前面に出ていている傾向がみられます。教職員と学生が協力しあって教育内容をより充実させ、魅力ある学科とするために努力していきたいと願っています。

## 平成12年度 学内行事概要

月	期日	内 容
4	9(日) 10(月) 11(火)～12(水) 13(木)	寮ガイダンス 第1回入学式 オリエンテーション 前期授業開始
5	10(水) 26(金)	学友会役員選出会議 後援会（役員会）
6	13(火) 21(水) 29(木)	学園祭実行委員会結成 学生総会 クリーン作戦
7	22(土)	オープンキャンパス
8	1(火)～31(木) 6(日)・26(土)	夏季休業 オープンキャンパス



月	期日	内 容
9	10(日) 11(月) 20(水)～29(金)	吉備高原ふれあいロードレース・ ボランティア体験（介護福祉学科） 前期授業再開 前期試験
10	2(月)	後期授業開始
11	2(木) 4(土)～5(日) 9(木)	球技大会 学園祭・ルース・キャンベル教授講演会 「生きがいのある社会と人づくり」 クリーン作戦 就職ガイダンス（全体） 「就職環境の変化と それに対応した動機づけ」 講師：石田 秀朗氏（学生援護会）
12	19(火) 21(木) 23(土)～	クリスマスパーティー 特別講演（福祉産業学科） 「IT化社会と近未来の福祉産業」 講師：田中 英幸氏 (日本総合研究所) 冬季休業開始（13年1月8日(月)まで）
1	9(火) 23(火)	後期授業再開 後援会（役員会）
2	1(木)～13(火) 23(金)～28(水)	後期試験 追・再試験
3	13(火)	第27回姫路学院女子短期大学 卒業証書授与式



## 学友会紹介

学友会 運営委員会

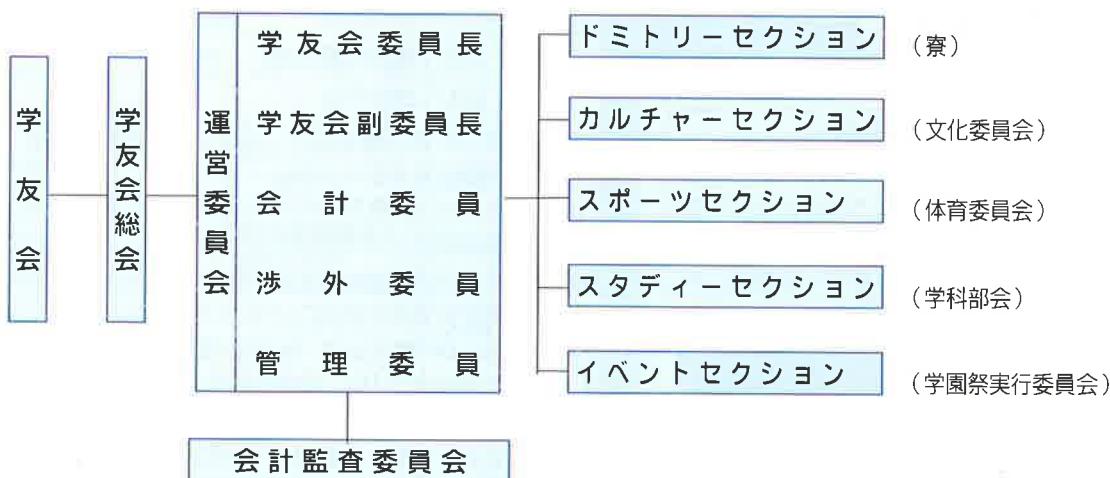
代表 出原 恵美

私たち学友会運営委員会は、学生の代表として学生の意見を代弁したり、行事の企画運営に取り組む、役員12名の委員会です。まず、私たちを含め、サークル設立を希望する者として100名ほどの学生が集まりました。その中で有志を募り、6月中旬の学生総会で過半数の学生に承認され、発足しました。学友会の組織としては、全学生を意味する学友会のもとに学友会運営委員会、各セクションがあります。イベントセクション（学園祭実行委員会）は、学園祭の企画運営を行い、ドミトリーセクションは、寮生の代表が寮内のルールに対する検討や生活改善に取り組みます。スポーツセクションは、体育系のサークル、カルチャーセクションは、文化系のサークルの総称です。スタディセクションは、各クラスの代表者の総称です。なお、スポーツ、カルチャー、スタディセクションについては、まだ具体的な活動が出来ていない為、今後、役割や活動を考えていきたいと思います。

学友会運営委員の主な活動としては、各サークル設立

においての規程作りから始まり、部室の確保、各サークルへの予算支給等、サークル活動に関する管理を行いました。また、学内に意見箱を設置し、学生の意見をもとに学生生活の向上や問題の解決に向けて取り組んでいます。行事では地域の方と町内清掃を行う「クリーン作戦」や、オープンキャンパスでは介護体験などの手伝いに、ボランティアの一般学生と共に参加しました。球技大会では企画運営を行い、半数以上の学生が参加しました。学園祭では実行委員の手伝いをしました。また、1月には学生と教職員の方々との共通の情報を得る場として、学友会新聞「バリアフリー」を発行しました。新聞は、今後、定期的に発行していく予定です。さらに、福崎駅周辺の再開発に取り組んでおられる地域の方々の会議にも出席しました。今後の会議にも参加し、地域との交流を深め、地域の発展に貢献していきたいと考えています。来年度は、今以上に学生が、より充実したキャンパスライフを過ごせるよう、学生の立場で活動に取り組んでいきます。

## 学友会組織図



- ・運営委員会において学友会活動の企画、運営の審議、決定を行う。
- ・運営委員会では、全学生の意見をできるだけ反映させる為、各セクションミーティングを開くことができる。
- ・学友会委員長は、必要に応じて学友会総会を招集することができる。



▲播彩祭特別講演

7



▼第1回播彩祭



## 平成 13 年度 学年暦（予定）

月	期 日	内 容
4	3(火)～4(水) 5(木) 6(金) 6(金)～11(水) 10(火)～11(水) 12(木)	2年生オリエンテーション 第2回入学式 後援会総会 就職ガイダンス（2年生対象） 1年生オリエンテーション 健康診断 前期授業開始
6	下 旬	クリーン作戦
7	18(水)～19(木) 23(月)～	補講集中期間 前期試験 [8月2日(木)まで]
8	3(金)～	夏季休業開始 [9月24日(月)まで]
9	3(月)～14(金) 25(火)～28(金)	前期介護実習（介護福祉学科2年） 補講集中期間（追・再試験含む）
10	1(月) 27(土)～28(日)	後期授業開始 学園祭
11	中 旬	クリーン作戦
12	10(月)～21(金) 22(土)～ 25(火)～28(金)	後期介護実習（介護福祉学科2年） 冬季休業[平成14年1月6日(日)まで] 補講集中期間
1	7(月) 22(火)～25(金) 28(月)～	後期授業再開 補講集中期間 後期試験 [2月8日(金)まで]
2	12(火)～15(金) 18(月)～22(金)	補講集中期間 追・再試験期間

### お便りコーナー

#### 《後援会総会のお知らせ》

来る4月5日（木）、第2回入学式が挙行されます。式終了後、平成13年度総会を開催いたしますので、新2年生会員の皆様のご出席をお待ちしております。詳細は、同封の案内をご覧ください。

- ・事務局では会員の方から「もっとこういうことが知りたい」などの意見、お便りをお待ちしています。
- ・会員の方で住所の変更がございましたら、事務局までお知らせください。



### 学生も20歳になつたら国民年金に加入を。

収入のない学生は、**学生納付特例制度**の申請によって、簡単な手続きで、在学中は、国民年金保険料が不要になります。手続きさえすれば、『もしも』の時も安心です。

#### 【学生納付特例制度】

届出（申請）をして承認を受ければ、在学期間中の保険料が後払いできる仕組みです。

#### 対象者は

大学（大学院）、短大、高等専門学校、専修学校などの教育施設の一部に在学する学生等であって、学生本人の前年の所得が68万円以下であるとき。（扶養親族等がない学生の場合、約133万円までの収入であれば対象になります。）

#### 承認を受けると

学生納付特例期間中の障害や死亡といった不慮の事態には、満額の障害基礎年金または遺族基礎年金が支給されます。

#### 卒業したら

会社や役所に勤めている期間は、厚生年金や共済組合に加入することにより、自動的に国民年金にも加入していることになります。

\*国民年金の保険料は、市区町村から送られてくる「国民年金保険料納付案内書」で納めることになります。

詳しいお問い合わせは、市区町村の国民年金窓口へ！

#### 学生部スタッフ



発行日：2001年3月12日

発 行：近畿福祉大学後援会

事務局 学生部

〒679-2217 兵庫県神崎郡福崎町高岡1966-5

Tel (0790) 22-2528

FAX (0790) 22-6941

E-mail:gakuseibu@kinwu.ac.jp